

「スタッド・ファイン」 施工要領書

四国化成工業株式会社

【適応下地】

- ・ 古壁(聚楽壁、繊維壁で強いもの)
- ・ ボード用石膏プラスター
- ・ 中塗土
- ・ 石膏ボード…「SK簡易工法」又は「SK工法」に準じて下地処理したもの。

*セメントモルタルなどアルカリ下地には施工できません。

【使用方法】

1. 標準加水量

- ・1袋(3.3㎡)あたり3.8ℓです。

2. 練り方(1袋の場合)

- ・ 容器(錆のでないもの)に標準加水量の8割(約3.0ℓ)の水を入れ、添付の「ボンド」を加えよくかき混ぜます。
- ・ 次に本品を入れ、十分混練りしたあと、30分程度練り置きし、下地に合わせて残り水を加え、よく練り上げてください。
- ・ 水の入れ過ぎは塗面がダレますので注意してください。
- ・ 一作業面は一度に混練りし、塗りつぎは避けます。

3. 塗り方

- ・ 表面水の引き具合を見て早めに仕上げてください。
- ・ 仕上げ鏝は同一方向にご使用ください。(返し鏝は目違いの原因になります。)
- ・ 多少の鏝むら、引きむらは水引き後、自然に消えます。
- ・ 標準塗り厚は1.2～1.5mmですが、下地が見えないよう均一に塗り付けてください。

【標準仕様】

製品名	スタッド・ファイン
型式コード	SDF-□□(□□:カラー番号)
主成分	土・繊維材
標準塗り厚	1.2~1.5mm
調合	壁材、合成樹脂エマルジョン(ボンド)
正味質量	1,500g(合成樹脂エマルジョン300g含む)
標準加水量	3.8ℓ/袋
標準所要量	1,500g/3.3㎡
可使時間	5時間
有効期限	3年間
梱包単位	10セット/ケース

【性能】

JIS A 6909 薄付け仕上塗材の内装薄塗材 W 試験法

試験項目		成績	判定基準
付着強さN/mm ² (kgf/cm ²)		0.27(2.8)	0.2 N/mm ² 以上 (2.0kgf/cm ² 以上)
保水性(%)		87	60%以上
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れが無いこと。
耐摩耗性		合格	はがれ及び摩耗による基板の露出がないこと。
耐変退色性	表面状態	異状なし	ひび割れ及びはがれがなく、変色がグレースケール3号以上であること。
	グレースケール(号)	4	
耐湿性 A法		合格	移動、ひび割れ、膨れ、しわ、変色がないこと。

【注意】

◎ 施工上の注意

- ・ 本製品は内装専用の仕上材です。外装には使用できません。
- ・ 古壁に限らず下地は掃除機等でチリ、ホコリなどを清掃してください。
- ・ 下地は平らに仕上げ、十分乾燥させてください。
- ・ 釘などで錆の恐れがある箇所には、錆止めを施してください。
- ・ 石膏プラスター下地で表面がドライアウトしているときは強固な下地にやり直してください。
- ・ 水引き差のある場合は下地調整を施してください。
- ・ アク、シミの発生しそうな下地には、「ジュラックスシーラーB」を塗布するか「ニューSKプラスター」を中塗りしてください。
- ・ 強度がない下地は剥離の原因となりますので、塗り直して施工してください。
- ・ 施工後、気温0℃以下になる恐れがある場合には施工を避けて下さい。
- ・ 粉体原料と液体原料はセットされた同一銘柄のものを使用してください。
- ・ 直射日光の当る場所、湿気の高い場所、高温(40℃以上)または低温(0℃以下)での保管は避けてください。
- ・ 施工後は十分な換気を行い、早期の乾燥を心がけてください。
- ・ 万一アク、シミが出た場合はもう一度塗り重ねてください。
- ・ 本品は天然の土・砂が主原料ですので、ロットによる多少の色違いはご容赦ください。
- ・ 混練りした材料の長期間保存は避け、使用器具は早めに水洗いをしてください。

◎ 安全に関する注意

製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項にご注意ください。

【取扱上の注意】

- ・ 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 施工時にボンド臭がある場合には、換気をおこなってください。
- ・ 作業後は手洗い・うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
- ・ 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けて産業廃棄物業者に依頼してください。
- ・ 残さ・残液[ボンドなど]は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染するおそれのある場所には廃棄しないでください。

【おことわり】

- ・ 防火対応ではありません。
- ・ 壁面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、ご注意ください。
- ・ 原料のパルプや繊維粉類などには染料を使用していますので、わずかに退色することがあります。
- ・ 原料のパルプや繊維粉類は徐々に日焼けしたり、黄変することがあります。
- ・ 壁面が水に濡れると、変色や剥離のおそれがあります。
- ・ 壁面は結露を繰り返すことにより、カビが発生したり剥離したりすることがありますので、日常的に換気をおこなってください。
- ・ 柱の乾燥収縮や地震、空調設備などによる下地への振動により、壁面にチリ切れやクラックを起こすことがあります。

以上